

自立と誇りある
日本をつくります



自民党衆議院埼玉県第3選挙区（越谷市・草加市）支部長

脱原発実現のためにはエネルギーの多角化が不可欠 きかわだひとし 黄川田仁志

特集 これからの日本を支える新しいエネルギー

※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

きかわだステーション

第 13 号

※『きかステ』と呼んでください！

～脱原発実現のためにはエネルギーの多角化が不可欠～

自民党埼玉県第三選挙区支部長の黄川田仁志です。

6月29日、首相官邸前で、原発再稼働反対のデモが行われました。デモの参加者数は数万人規模と、とても大規模なもので、原子力発電に対する関心の高さと、これからの日本のエネルギー戦略の重要性を改めて認識しました。

毎日の政治活動を通じて、私は様々な方とお話をさせていただきますが、原発再稼働について、意見を求められることがたくさんあります。私は自民党所属なので、いわゆる保守層の方とお会いする機会が多いのですが、そのような方の中にも、反原発を支持する方が以前より多くなってきました。福島第一原発の事故が、国民の中に大きな不安を残し、政府がその不安をほとんど押しよけできないまま、大飯原発の再稼働を迎えてしまったからであると私は感じています。

政治は、エネルギー戦略を考える場合、感情論だけで判断する訳にはいきません。電力供給という一面だけでなく、安全保障・経済・環境といった、総合的な視点が不可欠です。よって、原発に関しても、これら総合的な視点から判断し、政治が責任をもって再稼働することを、国民にしっかりと伝えるべきです。私は総合的に見て、原発再稼働はやむなしと考えています。ただし、福島第一原発の直接的な事故原因と放射能被害が拡大した原因を明確にすることと、より一層の安全対策を同時に進めることを条件とします。

一方で、私たち日本人は、原発は、事故が発生したとき、大きな被害を伴う可能性があることを、身を持って経験しました。上記の総合的な視点から判断すると、これからの日本のエネルギー戦略の大きな柱として、原発推進を位置付けることはできないと私は考えます。よりリスクの少ない発電方法を、順次、開発・導入する必要があります。その場合、国は、今すぐ取り入れられる技術、中期的に取り入れられる技術、長期的に取り入れられる技術を整理し、これからのエネルギー戦略を策定しなければなりません。

私が今、最も注目する発電方法は、天然ガスによる火力発電です。精密機械の製造等、日本のものづくりを支えるためには、大容量の安定した発電技術が不可欠です。太陽光や風力による発電は、半永久的に使用できるクリーンなエネルギーですが、自然に左右されるため、安定的とは言えません。まだまだ技術開発が必要で、短・中期的にみて、産業活動を支える基幹電力になることは難しいと思います。天然ガスは、新しい技術の導入により、シェールガスなど、世界的に生産量が増え、価格も下落傾向にあり、原発停止によって減少した発電量を補うのに、とても有効です。

短・中期的には、天然ガスを主体とした火力発電を主力に、長期的には、日常生活用の電力として、太陽光や風力等の自然エネルギーによる発電技術の開発を進める。それに伴い、具体的に何年後に原発による電力供給をやめるのかを決める。このように、エネルギーの多角化によって、日本は、将来原発のリスクを限りなくゼロに近づけていくことができると私は考えています。

日本にとって、エネルギー戦略は、まさに生命線です。先の戦争も、石油問題が引き金になったことは、皆さんご承知のとおりです。だからこそ、政治が未来を見据え、責任をもって判断しなければなりません。今の民主党政権に、このような大事なエネルギー戦略を任せておく訳にはいきません。

これからの日本を支える新しいエネルギー ～天然ガスを主力にして脱原発へ～

表面でも取り上げましたが、今、世界で、**天然ガス**が注目されています。どうして注目され始めたかという、主に2つの理由があります。1つは、ロシアの天然ガスが、ヨーロッパ市場以外にも進出を始めたこと、そして、もう1つは、アメリカで、非在来型の天然ガスの商業生産が本格的に始まったことです。

ロシアは、サハリン沖の開発等により、日本をはじめ、アジアにも天然ガスの輸出を始めています。さらには、エネルギー消費量の多い北米にも天然ガスを輸出しようと、その生産量を増やしてきました。しかし、アメリカは、**シェールガス**という**非在来型の天然ガスの生産を開始**し、自前で天然ガスを調達できるようになりました。

非在来型の天然ガスとは、従来の技術では取ることのできない天然ガスのことです。図1をご覧ください。

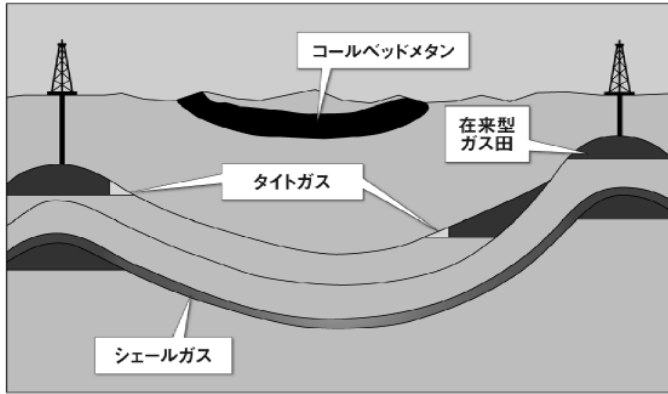


図1 非在来型天然ガス資源の賦存環境の例 (JOGMECのHPより抜粋)

シェールガスは、今まで採掘してきたガス田よりも深い場所にあります。技術開発により、深い所にあるガスも、取り出せるようになりました。これにより、**世界の天然ガス埋蔵量が2倍に見積もり直されました**。巨大なアメリカ市場が、自前で天然ガスを賄えるようになった結果、ロシアや中東で生産される天然ガスが行き場を失い、価格が下がり始めています。さらには、アメリカも、自国用だけではなく、日本などに、シェールガスを輸出することになっており、日本は、天然ガスを安価で安定的に輸入することができるようになりました。このことにより、**ガス火力発電が、脱原発への過程でリリーフ的な電源として期待できるようになりました**。

そればかりか、天然ガスには、日本が自力で開発する余地も残されています。図2をご覧ください。**非在来型の天然ガスのうち、日本の領海内に多数存在が確認されているのが、メタンハイドレート**です。メタンハイドレートは、海底に存在し、現在の技術では取り出すことはできません。しかし、開発が進められており、技術が確立すれば、日本は、天然ガスを輸入する必要がなくなるばかりか、**他国に輸出できる可能性**もあります。しかし、その実現のためには、国が積極的に開発に関与する必要があります。**天然ガスの可能性を活かすには、それを後押しする国民世論と、政治決断が不可欠**なのです。

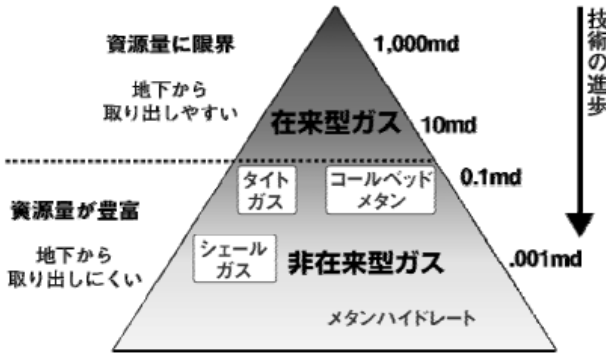


図2 天然ガスの資源量トライアングル (JOGMECのHPより抜粋)

～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとしを応援する会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。入会金・年会費は不要です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



「自立」と「誇り」ある日本をつくりたい

きかわだひとしを応援する会

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2丁目 8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集しております。上記まで連絡願います。

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大に向け、皆様からの温かいカンパを募集しております。

きかわだひとしとは？…次期衆議院議員選に向けて活動中。東京理科大卒、米メリーランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道・空手・スキューバダイビング・野球・三線